

「英語の口語表現」は「熟語(イディオム)」とか「会話の慣用表現」とか言われて、「文法的でない表現」のように扱われてきました。けれども、それは現行の英文法の不備ため「英語の日常語」であるアングロ・サクソン語(ゲルマン語)のロジックを文法化できなかったからでした。VSOP英文法は、英語の日常語である**アングロ・サクソン語が、S-V-O-P : ワンパターンになっている**ことを世界で初めて発見しました。これによって、日本人がようやく英会話表現を「言葉の使い方の決まり」として理屈で理解できるようになりました。英語は**「実はワンパターンな語順規則」**で使っているのです。まず先に「S-V」と「気持ち判断」を言い、その後ろに「O-P」と「その内容(対象)」を言う**「ギャル語順」**になっています。この語順感覚を体得すれば「英語が自由に使える」ようになるのです。

導入 基本会話表現		
1 回目	Procedure 1	エッセンス講座 (英語はワンパターン=ギャル語順)。英語の構造=ギャル語語順感覚。何故、今新しい理解法が日本人に必要なのか? 「熟語(イディオム)・慣用表現」は理屈で解る。 《オリエンテーション》
	Procedure 2	必ず身に付く英語の勉強法: ①英音を身に付けるには? ②英単語を覚えるには? ③何を讀んだらいいか? ④どんな辞書がよいか? ⑤何をやったら身につくか。その他お役立ち情報。
2 回目	Procedure 3	《BASIS 64》あらゆるタイプの英文は《たった64タイプ》の文にまとめることができます。そして、どのタイプも S-V-O-P : ワンパターンです。英語語順の全体像を掴みます。
	Procedure 4	否定文や疑問文とその応答、感嘆文もワンパターン。「ネクサス(判断詞の隠れた主語・述語関係)」も、疑問文や否定文のワンパターンの理解が必要。
3 回目	Procedure 5	会話表現: 気持ちを表すには? 「気持ち判断」を言い、その対象を前置詞句で言う。気持ちや様子を表す <b>形容詞</b> の使い方: 前置詞が重要な意味を作っている
	Procedure 6	会話表現: 動きや場所、状態を表すには? 動きや場所を表す <b>前置詞句</b> の使い方。英語は <b>前置詞中心で意味を作り</b> 動詞が中心ではない。
4 回目	Procedure 7	最も口語的な表現: <b>動きを表す副詞</b> =動詞は「動き方の様子」を表している。 be + 副詞(習えない)と動詞+副詞(句動詞)の使い方は同じ。熟語(イディオム)の一掃。
	Procedure 8	会話の <b>基本動詞</b> の使い方: 主語の状況を言う <b>自動詞</b> の使い方 go, come, get, make, turn, stand, fall, remain など、自動詞の使い方は「補助語」
5 回目	Procedure 9	会話の助動詞(will: 話し手のつもり)の表し方: will は、発話した時の「話し手の判断」だから「現在形」。英語に「未来形」と呼べるような特別な語形はない。
	Procedure 10	会話の基本動詞の使い方①: 「相手に~させる(使役動詞)」言い方はSVOP。 <b>多くの基本動詞は他動詞で使える</b> : ネクサス(Nexus)の理解が他動詞の理解
6 回目	Procedure 11	会話表現の <b>have</b> の使い方: 「~がある」には have を使う。熟語(イディオム)の一掃。 会話で一番使用頻度が高い言葉: <b>have の後ろの言葉</b> が重要な意味を表す
	Procedure 12	会話表現の <b>be doing(進行形)</b> : 「~している最中である(~の行為中である)その時の行為を表すには、doing を使う。S-V-O-Pのどの位置でも使う。
7 回目	Procedure 13	会話表現の <b>be done/-ed(受動態)</b> : 「~されている」という受け身の意味は、be が表している。done/-ed はどこで使っても「~し終わっている状態」を表している。
	Procedure 14	会話表現の be + to-不定詞の使い方: 「これから <b>必ず</b> する」という意味は to do で表す。 {do}want}{be eager}{have the urge} to do : to do の <b>前の言葉</b> は <b>補助語</b> 。
8 回目	Procedure 15	会話表現の have done/-ed(完了形): 「~している」は3通りで表せる。「 <b>現在完了形</b> 」は「 <b>今[既に]~になっている状態</b> 」を「今の状態」を表わす。過去と勘違いしないように。
	Procedure 16	日常の他動詞の使い方②: 活用した動詞 (to do, doing, done/-ed) を叙述語(P)で使う。一番英語的な表現が他動詞の使い方 (=ネクサス)だが、日本人に一番馴染みにくい。

※ ご受講までに「世界で一つだけの英語教科書」をご一読頂くと理解が深まります。

※ この講座は、英語のワンパターンロジックに慣れるための導入講座です。きちんと全体像をつかむには「必修編」をご受講下さい。